

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

友渕小	学校	児童数	259
-----	----	-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.63	18.93	28.93	38.48	45.70	9.56	149.48	20.32	49.79
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.32	18.01	35.53	35.24	33.85	9.91	138.51	11.96	50.61
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

男子の「20mシャトルラン」「立ち幅とび」について、大阪市平均を上回ったが、それ以外の項目では大阪市および全国平均を下回った。女子については、全ての項目において、大阪市平均および全国平均を下回った。体力合計点については、男女ともに大阪市平均より約2ポイント、全国平均よりも約3ポイント下回る結果となった。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」において「好き」と回答した割合は、男子が74.5%で大阪市および全国平均を上回ったが、女子は51.8%で大阪市および全国平均を約2ポイント下回った。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が4.7%、女子が18.3%であり、男女ともに大阪市の割合よりも低く、運動習慣がついている児童が比較的多かった。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまで体力・運動能力の向上に向けて、学校全体で「なわとび週間」や「かけ足タイム」などの取り組みを進めてきた。今回の調査結果では、体力合計点について大阪市および全国を下回った一方、「体育の授業で楽しさを感じる時はどのようなときか」という質問に対して「できなかったことができるようになった」と肯定的に回答する児童の割合が男女平均87.3%となり、大阪市および全国平均に比べて約5%高かった。このことから、運動意欲の高い児童が増えつつあること、「体育って楽しい！」と思えるように「できた」という達成感を感じられる取り組みを進めていくことが、体力・運動能力を向上させる手立てになると考える。そのために、ボールなどの運動用具および鉄棒やマットなどの運動器具をはじめとする環境整備、運動能力の習熟度に応じた場の設定を重視した体育科の学習など、だれもが楽しみ、達成感を感じられる授業実践を推進していく。また、実技と講話を組み合わせた教員向け研修会を適宜行っていくことで、指導力向上を通じた児童の体力向上の推進を図っていく。